

	チェック項目	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという 思わない	そう 思わない	無回答	ご意見とご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	1	1		
	② 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5	1			
	③ こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	2			
	④ 清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	1	1		
事業改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	1	4	1	1		
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3				
	⑦ 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7				
	⑧ 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	3	2	1		資質向上という面からも、より専門的な研修を計画していきましょう。
適切な支援の提供	⑨ 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	1			
	⑩ 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	2				
	⑪ 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	3				
	⑫ こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		1		
	⑬ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	1			
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。		5	1	1		
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	4		1		
	⑯ こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		1	5	1		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	3	2	1		
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		1	2	3	1	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2				
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2				
	㉑ 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」(※1)を複数組み合わせ支援を行っているか。 (※1) ①日常生活の充実と自立支援のための活動、②多様な遊びや体験活動、③地域交流の活動 ④こどもが主体的に参画できる活動	1	1	4	1		③はできていないと思う →地域交流の活動については、今後検討します。
	㉒ こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援が行われているか。	4	2		1		
関係機関や保護者との連携	㉓ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	1	5		1		
	㉔ 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4		1		
	㉕ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2		1		
	㉖ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5		1		
	㉗ 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	1	1	1	よく分からない
	㉘ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		1		
	㉙ 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	2	1		情報提供は行えている
保護者への説明等	㉚ 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	1			
	㉛ 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2				
	㉜ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	2				
	㉝ 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2		1		
	㉞ こどもや家族からの相談や申し出について、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることを周知・説明し、相談や申し出をした際に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2		1		
	㉟ 定期的に通信を発行することやHPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2				
	㊱ 個人情報取扱いに十分留意しているか。	5	2				
非常時等の対応	㊲ 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	3	1			
	㊳ 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3				
	㊴ 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2				
	㊵ 事前に、服薬やてんかん発作、食物アレルギー等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	1			
	㊶ 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3				
	㊷ こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	1			
㊸ ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	1				
㊹ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	1				

		チェック項目	そう思う	どちらかという とう思う	どちらかという とう思わない	そう 思わない	無回答	ご意見とご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	4	2			利用者のニーズに応じてサービスを提供しているため、事業所側で利用頻度の差を調整することは難しいですが、定員がオーバーする場合には受付を見合わせるなどの調整を図ります。
	②	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5	1			
	③	こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	2			
	④	清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	2			A,Bルームの床に寝転ぶことを拒まれる方がおられたのでヨガマットとかあれば… →次回の購入希望リストに追加し、購入を検討します。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。		6	1			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	1			
	⑦	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7				
	⑧	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	3	2	1		資質向上という面からも、より専門的な研修を計画していきます。
適切な 支援の 提供	⑨	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	1			
	⑩	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	2				客観的分析の指標と支援計画をつなげるための分かりやすいものがあれば… →エビデンスのある指標と支援計画をつなげられるよう専門的知識を生かして皆で考えていきましょう。
	⑪	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3	1			
	⑫	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	1			
	⑬	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	1			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		5	1	1		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	5		1		
	⑯	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		1	5	1		集団活動を取り入れるための準備(設備・人員・内容検討等)が必要かと思えます →集団活動を行うにあたって、どのように準備していけるとよいか、今後検討します。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	4	1	1		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		1	1	5		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2	1			
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	1			
関係機関 や保護者 との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	1	5		1		
	㉒	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		1		
	㉓	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4		1		
	㉔	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		1		
	㉕	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	2	1			
	㉖	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2	4	1		情報提供はできている
保護者 への説明 等	㉗	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	1			
	㉘	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	2	1			
	㉙	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	2				
	㉚	必要に応じて、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	1			
	㉛	こどもや家族からの相談や申し出について、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることを周知・説明し、相談や申し出をした際に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2		1		
	㉜	定期的に通信等が発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	1			
	㉝	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	1			
	㉞	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	4	1			
非常時 等の対応	㉟	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	1			
	㊱	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2				
	㊲	事前に、服薬やてんかん発作、食物アレルギー等のこどもの状態を確認しているか。	5	1	1			
	㊳	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3				
	㊴	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	1			
	㊵	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	1			
㊶	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	1				

	チェック項目	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという 思わない	そう 思わない	無回答	ご意見とご意見を踏まえた対応
体制整備	① 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。			2			今後、訪問の枠を増やせるように検討中である。
事業改善	② 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		1			1	
	③ 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を事業改善につなげているか。		2				
	④ 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		2				
	⑤ 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			1	1		個人的に研修を受けている
適切な支援の提供	⑥ 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1	1				
	⑦ 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		1			1	共通理解する範囲がどのようにするのが適切なのかわからない →子どもの状況によって異なりますが、児発管や担当者が日頃から情報共有を行い、作成時に共通理解を深めておけるような体制を整えられるようにしていきます。
	⑧ 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2					
	⑨ 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1				
	⑩ 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1	1				
	⑪ 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2					
	⑫ 毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	1	1				
	⑬ 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	1				
	保護関係と機関連携	⑭ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との支援会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。		2			
⑮ 地域の保健、医療福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			2				
⑯ 就園・就学の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		1	1				
⑰ 日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		1	1				
保護者等への説明等	⑱ 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			1	1		情報提供のみ
	⑲ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2					
	⑳ 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2					初回訪問の際にしてくださっていると思う
	㉑ 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2					
	㉒ 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2					
	㉓ 必要に応じて、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	1	1				
	㉔ 子どもや保護者からの相談や申し出について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に対しそのような場があることを周知・説明し、相談や申し出をした際に迅速かつ適切に対応しているか。	1	1				
	㉕ 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	1				
	㉖ 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	2					
訪問先施設への説明等	㉗ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1					
	㉘ 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2					
	㉙ 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2					
	㉚ 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2					
	㉛ 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	2					
非常時等の対応	㉜ 訪問先からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2					
	㉝ 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2					
	㉞ 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2					
	㉟ ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	1				
㊱ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	1					